

**東京土建一般労働組合
台東支部**
〒110-0012 台東区竜泉1-15-2
Tel (3876) 1966 Fax (3875) 5965
(Mail) taitou@tokyo-doken.or.jp
(HP) http://doken-taito.jp
編集 遠藤 顕寛

たいとう

機関紙 たいとう に
皆様の記事を
お寄せ下さい！
掲載されれば500円のクオ
カードをプレゼントします。

台東区交渉・申し入れ

今年も台東区経理課交渉が行われた。台東区独自の住宅助成制度は周知不足の為に利用者0件もありました。労働環境においては受注した事業者の最低賃金の違反件数が増加。小中学校のブロック塀点検を再度要請。



昨年と同じ経理課・経理課担当者との交渉

した。今年で6年になるこの交渉には、支部役員1名、書記2名が出席、台東区側からは経理課長と契約担当係長が出席しました。

住宅改修工事の助成制度の「耐震改修助成」「空き家活用助成」についてたずねたところ、安心して住める街づくりを区が推し進めているにもかかわらず、「耐震改修助成」は昨年7543万円の予算に対し申請額1955

建設労働者の賃金引上げや労働条件改善には、公共工事における設計労働単価引上げや就労環境の整備が欠かせません。職人が減っている昨今、公共工事の条件が良くなれば、民間工事でも労働者確保のために条件を上げるをえまません。発注者である国や都、区は、受注者の元請企業に対して影響力をもちます。下請けの事業者や現場労働者の労働条件の改善を迫るべく、10月23日に台東区経理課へ交渉・申し入れを行いました。

大手企業交渉始まる

東亜建設工業交渉



10月25日に大手企業交渉をするために日本教育会館に集まりました。三地協、全建総連、各県連組合の挨拶で始まり、全建総連賃金対策役員から基調報告

の後、要求説明と行動指示等を受けてから12の交渉団に分かれて打ち合わせしました。交渉先は東亜建設工業で、私たちの交渉団は役員5名と組合員22名の27名の参加で前回同様麹町の弘済会館で行いました。

要望書の内容は「建設労働者、職人の賃金確保、労働条件改善に関する要望書」として事前に企業に渡してあり、今日この場で企業側は回答する形で始まりました。

労働条件改善の質問では、東京都多摩市の安藤ハザマが元請の火災による死亡と昨年大成建設の丸の内3-2計画で起きた死亡事故等があり、現場単位で注意喚起しているとの回答でした。

交渉に反対した東亜建設の社員は現場担当者では無いので、現場からの報告文を読み上げる事に終始していた。次の企業交渉は来年4月にあります。企業側の実りある回答を期待して来年は質問に望みたい。

松が谷分会
杉本良信

リフォームパートナー協議会

RECCO

RECCOに入って、仕事確保につなげよう。リフォーム市場の規模拡大を国が推進し、大手住宅企業やインターネット通販会社などの異なる業種も参加、リフォーム市場の競争が激化する中で地域の消費者からの信頼を得て仕事を依頼される事業者となるためにはしっかりと対応と確かな技術が求められます。



★正会員になると国土交通大臣登録住宅リフォーム事業者団体の会員だけが使用できるロゴマークを名刺やチラシ等に掲載でき、消費者にアピールできます。

★自信を持って消費者に対応できるための技術・技能・提案力向上等の各講習会に参加できます。

★リフォーム瑕疵保険の保険料割引があります。

★ローンが必要な場合は都内6カ所のろうきんローンセンターを紹介。

★困ったときには設計者（一級建築士）対応のサポート相談室を利用できます。

★一定の書類提出で資格がなくても入会可能です。

年会費1万円
入会金3千円

安倍首相は来年10月に消費税を8%から10%に増税と表明。経済ジャーナリストの荻原博子さんは、赤旗日曜版で8%より、10%になってしまうと、そのわかりやすさで税痛感が大きくなり、皆さん買物を我慢してしまうと言います。

また問題の多い「軽減税率」の導入に伴い、4年の経過措置を経て2023年10月からインボイス（適格請求書）方式が実施されます。

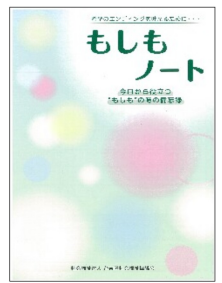
インボイスとは「税額証明」の事で、これがないと事業者は仕入れにかかった消費税額を控除できなくなり、納税がはね上がります。

インボイスを発行できるのは、課税業者だけ。全業者の6割、500万円超の免税業者（課税売上高1千万円以下）は、取引から排除されるか、新たに課税義務と、煩雑な事務負担を強いられ、課税業者にならざるを得なくなりそうです。

私たちは一致団結して増税に反対していきます。

(E)





10月25日支部でライトシルバーと女性の会と共催で、「転ばぬ先の杖」と題して三ノ輪地域包括支援センターの本彦講師と社会福祉協議会の吉岡講師を招いて講演を開催しました。

もしもノート

平成30年10月現在 在台東区の人口は、日本人と外国人を含めた総人口は19万8千8百人余りで、4人に1人が高齢者で、23区内で4番目に多くなっています。

厚労省の「完全生命表」に依ると男性の平均寿命は80才、健康寿命は70・5才。女性の平均寿命は86才で

健康寿命は74才となっています。4人に1人は認知症で2人に1人が癌を発症しているそうです。

台東区では、要介護3に認定される人は毎年30人増え、50人と増え、受け入れ施設が4人部屋が5カ所(費用月56万円)、1人部屋が3カ所(15~16万円)

しておくノートなので。又超高齢化時代の「穏やかで幸せな逝き方」を考える「尊厳死宣言」を公正証書の保管料として毎年1万円を払って残す人が急増中との週刊誌の記事の報告もありました。

お話しを聞いて何か暗い気持ちになりましたが、自分の身の周りの整理整頓をする事は残された家族は大変助かると思います。

計8カ所です。不足していません。地価が高い為容易には建てられない現状なのです。

希望のエンディングを叶える為「もしもノート」が配布され、それは自分がもしもの時財産・医療介護・エンディングの希望・連絡先・自分の想いなどを記入

オープンして、平成18年に建替えて現在に至ります。3つの展示室で直筆原稿、書簡、愛用品など貴重な資料と24年間の短い生涯を紹介しています。

記念館のある竜泉は、兄と父を続けて亡くし、17歳の若さで一家の大黒柱となつた一葉が、母と妹と移り住んだゆかりの地です。家族を養うため、



近所にあるけれど

台東支部近くに「一葉記念館」があります。以外と近くにあつて、場所も知っているが入館したことがない人が多いと思う。

ご存知の通り、樋口一葉は5千円札で有名な小説家で「たけくらべ」などが代表です。この建物は昭和36年に



平成18年に建替えて現在に至ります。3つの展示室で直筆原稿、書簡、愛用品など貴重な資料と24年間の短い生涯を紹介しています。

記念館のある竜泉は、兄と父を続けて亡くし、17歳の若さで一家の大黒柱となつた一葉が、母と妹と移り住んだゆかりの地です。家族を養うため、

憲法・いのち・社会保障も国民集会が、10月11日日比谷野外音楽堂で開かれました。日本医労連の森田実行委員長は安倍政権が社会補償の後退を進める一方で、平和憲法を破壊しようとしていることに対し世論に訴えていきましようと呼びかけがありました。

秋の組織拡大月間

秋の組織拡大月間が終了しました。目標の58人に対して42人の加入に留まり達成率72%とができませんでした。非常に厳しい拡大に

組織人員は今年1月の1632人から1617人となり、対1月から15人の減少となっています。最終的には年間実増が年内の大きな課題となります。

分会名	目標	成果	達成率
清川	10	4	40%
浅草中央	4	★5	125%
下谷	3	1	33%
谷中	3	1	33%
松が谷	6	3	50%
上野浅草橋	4	★5	125%
直属	28	23	82%
合計	58	42	72%
青年部	4	★4	100%
ライトシルバー	13	4	30%
主婦の会	4	★5	125%

いのち守れ!

憲法守れ!

リレートークでは認知症の患者家族団体からは少ない年金が減らされて、家族の看護は限界にきている。これ以上年金が削減されれば看護は無理と訴えがありました。

中間決起BBQ



全員が到着。チケットが手渡されると、目当ての乗り物へと向かいました。乗物に満喫後、12時半からBBQタイム。冒頭、寺山副委員長から秋の組織拡大のお願い



「平和憲法守れ!」「憲法25条守れ!」と厚労省へ向けてシュプレヒコールをした後、銀座を通りながらパレードしました。

10月7日季節はずれの真夏日となった豊島園で中間決起BBQを開催しました。絶好の秋晴れとなり一日を楽しむために既に開園前の10時には